



命を救う。命をつなぐ。
CHIKAMORI
HEALTHCARE GROUP
近森病院

近森病院からの ホットライン

2024.6 Vol.244

発行：近森病院地域医療連携センター



循環器内科 部長 西田 幸司

日本循環器学会・循環器専門医
日本内科学会・総合内科専門医・指導医・認定内科医
日本心血管インターベンション治療学会・専門医・認定医

問診をじっくり行い、患者さんにとって
負担の少ない診療を選択しています。
経験と治療実績が豊富な西田までぜひご紹介ください。

胸痛診断

のパラダイムシフト



心臓性胸痛

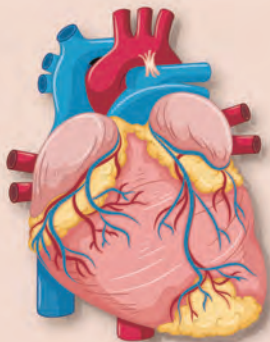
非心臓性胸痛

「胸が痛い」といっても、その原因や重症度によってさまざまな疾患を考える必要があります。心臓が原因の「心臓性胸痛」か、それ以外の「非心臓性胸痛」かは、循環器専門医であっても診断に迷う症例が多くあるのが実状です。胸痛には深刻な病態も存在するため、早期の診断と適切な治療が重要です。心臓性胸痛に限らず「胸が痛い」患者さんを診察させていただいております。

冠動脈狭窄のない狭心症

イノカ (INOCA) の診断が可能に

心臓が原因の胸痛である「心臓性胸痛」の中で特に最近注目されている心臓カテーテル検査や心臓CTで閉塞や狭窄がない狭心症であるINOCA(虚血性非閉塞性冠疾患)の診断が可能になりました。これにより胸痛診療はパラダイムシフトを迎えましたがその反面、診断や検査の選択もより複雑化しています。



狭心症を起す
3つの原因

閉塞性冠動脈疾患



①動脈硬化冠動脈疾患

非閉塞性冠動脈疾患 (INOCA)



②冠攣縮性狭心症



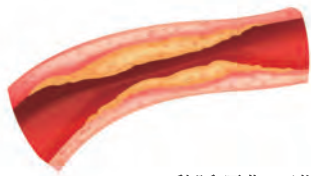
③冠微小循環障害

胸痛外来は
水曜午後

近森病院の胸痛外来では、従来の労作性狭心症の診療に加えて、冠動脈に閉塞や狭窄がない狭心症であるINOCAの診断も行います。中四国でも有数の心臓カテーテル治療の症例数を誇る近森病院の豊富な経験と治療技術をいかし、患者さん一人ひとりに合わせた診断と、当院の強みである最新の診断・治療機器を活用した高度な治療をこれからも提供していきます。

心臓性を診断するのは難しいケースもあり、たとえ非心臓性胸痛であってもお気軽にご紹介ください。

心臓性疾患に限らず「胸が痛い」患者さんを診察させていただきます！



労作性狭心症のパラダイムシフト

動脈硬化の進行により血管の閉塞や狭窄が主な原因で、身体に負荷がかかった時に胸痛が出ます。この労作性狭心症の診療にもパラダイムシフトが起こり大きく変化しました。CTの進化にともなう冠動脈疾患の診断アルゴリズムの改訂により侵襲が少なく外来で施行できるCTが強く推奨されるようになりました。

当院では、できる限り心臓カテーテル以外の非侵襲的な検査を選択し、患者さんの負担を軽減することに力を入れています。2023年4月に導入された最新の心臓冠動脈CTにより、労作性狭心症の診断が一層強化されました。また、県内で唯一使用可能なFFR-CTという機器を活用することで、非侵襲的に虚血の評価も行うことができ、より迅速かつ正確な診断が可能になっています。視覚的な(主観的な)判断のみではなく、客観的な数値を参考に治療適応を判断するため、よりエビデンスをもった治療につながっています。

CAG・心筋シソチ不要

非侵襲的に
PCIの適応を判断することが可能に!

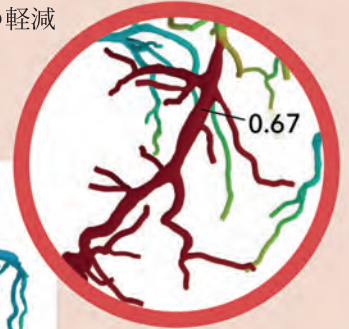
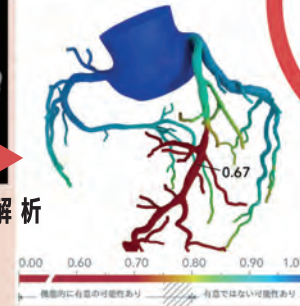
FFRCT 冠血流予備能

- 冠動脈の狭窄と血流を同時に評価できる
- 患者さんの身体的、時間的負担の軽減
- CT画像解析でPCI判断が可能

CT画像



冠動脈デジタル
3Dモデル



治療の必要性のある冠動脈の部位が数値と色で示される

心臓CTの進化

INOCA のパラダイムシフト

(冠動脈狭窄のない狭心症診断の進化)

心臓性胸痛であっても血管の閉塞や狭窄がないINOCAは、2023年に日本循環器学会のガイドラインにも掲載され、今まさに注目の疾患といえます。INOCAの原因は冠攣縮性狭心症と冠微小血管狭心症に大別されます。

冠攣縮性狭心症



冠攣縮誘発が必要な患者さんには、心臓カテーテル中に、薬剤負荷によって血管の痙攣を誘発するテストを行います。患者さんの背景や症状に応じて検査の内容は変わり検査時間は約30分です。

冠微小血管狭心症



冠微小血管狭心症の診断には、通常的心臓カテーテル検査の中で、専用のカテーテル機材と解析ソフトを用いて微小血管の血流や抵抗値を測定します。

冠動脈の微小血管の障害による胸痛は診断が難しく、胸痛に悩まされているにもかかわらず検査をしても狭窄や閉塞が見つからないため、正常と診断され原因不明とされることが多いですが、現在では詳細な診断が可能になり、それに基づいた治療も可能となりました。



患者紹介 WEB 予約システム ぜひご利用ください。
お問合せは 地域医療連携センターへ 088-822-5231 (代)



ご利用ガイドは
こちらから